

格子形鋼製砂防えん堤



平成3年9月の豪雨により発生した風倒木を捕捉
滝水川砂防えん堤 鋼製部高11m、全幅99m、鋼製部幅17.6m、水通し幅21m(139.9トン) 平成3年[大分県]

4. 鋼製砂防構造物の効果事例



土石流掃流区域に設置した格子形砂防えん堤で、集中豪雨により流下した土石流を捕捉。支川から流下した倒木を捕捉した状況。

河床は土石流により洗掘が著しく中小礫が搬送流下した。



流木を捕捉した古恵川第9号砂防えん堤 平成3年〔熊本県〕
鋼製部高8m、全幅155m、鋼製部幅17.4m、水通し幅21m(105トン)

格子形鋼製砂防えん堤



冷水川砂防えん堤 鋼製部高11.5m、全幅63m、鋼製部幅11.5m、水通し幅15m(139.8トン) 平成4年[福岡県]

4. 鋼製砂防構造物の効果事例



支川から流下した流木を捕捉し、えん堤まぎわで巨礫がおしとどめられた。えん堤の鋼管支柱には約3mの高さで流下した土石流の跡が見られた。



流木を捕捉した古恵川2号砂防えん堤
鋼製部高8m、全幅190m、鋼製部幅87m、水通し幅12m(58.1トン) 平成5年[熊本県]

格子形鋼製砂防えん堤（最下流タイプ）



軍場川砂防えん堤
鋼製部高9m、全幅49m、鋼製部幅6.4m、水通し幅8m(81.2トン) 平成11年[鹿児島県]
平成13年の台風による流木を捕捉



上流状況



下流状況

4. 鋼製砂防構造物の効果事例

平成3年9月に発生した台風19号により大量の風倒木が発生、緊急対策として鋼製スリットを設置した。施工中に流木が大量流下したがスリットにより捕捉した。



対策完了後の全景



対策前の状況



屋形川(上流側えん堤) 対策後のスリットえん堤により捕捉された流木 鋼製部高3m・4m 平成5年[大分県]



屋形川(下流側えん堤) 捕捉した流木を下流側から見た状況 鋼製部高3m・4m 平成5年[大分県]